



市役所本庁舎前で

に、賀露西浜地区の港町や中心市街地の持つ城下町としての魅力を組み合わせ、さらに、わらべ館・やまびこ館などの市内の施設や、そのほか周辺の観光地を結ぶ観光ルートの定着化に取り組みます。

「まちづくり」は、 市民と行政の協働で

ところで、**中心市街地の活性化**についてはどうですか。

中心市街地の活性化を図るためには、ソフト、ハード両面のさまざまな事業を同時多発的に行い、人々が街中を回遊するルートを創り出すことが必要ですね。

「まちづくり」は、市民と行政の協働が最も大きな効果を上げる分野と言えるでしょう。今年、現在取り組みが進められている弥生にぎわい拠点や、お笑い健康道場など、個性的で魅力ある交流拠点の整備を次々進めていきます。

また、若桜街道のバリアフリー化やハンギングフラワー事業、旧袋川遊歩道の整備として、一月三日から本格運行する「100円循環バス」くる

梨」など、中心市街地回遊ルートの創出も行っています。

一日も早い**高速道路の完成**を目指して

姫鳥線の建設方法について県が国へ新直轄方式と回答しましたが、**高速道路**についてはどう考えていますか。

国では道路公団民営化や建設方式の選別の議論が最終的な検討段階を迎えています。

昨年私は、石原国土交通大臣に直接お会いして高速道路の必要性を強く訴えてまいりました。今年も引き続き国へ要望してまいります。

県が、直轄方式を妥当と判断され国に回答されましたが、この方式により建設されますと無料の高速道路として整備され、有料の場合に比べて交通量が三倍以上に増加し、道路としての効用が大きくなります。整備の確保と実質的な地方負担なしを求めた上での結論ですから、私は支持したいと考えています。とにかく、一日も早い姫鳥線と山陰自動車道の実現を目指して努力していきます。